



クラスだより

令和4年3月15日
小田原市立前羽幼稚園

ありがとう会、頑張ると!

2月下旬、ほし組の卒園式の活動に参加する中で、すみれ組も少しずつ“卒園”が分かり、意識するようになってきました。「たくさん遊んでくれた年長さんと、思い出をつくりたい!」「お礼を伝えたい!」と考え、『ありがとう会』を開くことにしました。

遊びの話し合いは、今までほし組さんが中心に進めてくれていましたが、今回は「ほし組にはまだ内緒!」「すみれ組だけで成功させるぞ!」と、3人で力を合わせて一生懸命頑張りました!



『クイズ大会』は、問題を自分たちで考えました。

◎すみれさんが考えたクイズの一部です!



- ・「すみれ組には無いブロックの色は何色でしょうか?」
- ・「下中幼稚園の滑り台はどんな形でしょうか?」(下中幼稚園のことは、下中幼稚園探偵すみれ組しか分からない…はず!)

誕生会の“手形クイズ”の経験から、「①～③のうち、どれでしょう?」と、項目も考えて出題していました。自分たちで計画し、活動を進める中で、すみれ組の子どもたちが一段と頼もしく感じられるようになりました。一つ一つの経験が重なり、力となっています。

小学校ってどんなところ?

「小学校が楽しみ!」「4月から、どんなことをするんだろう?」という子どもたちの思いから、前羽小学校の教頭先生をお招きし、小学校のお話をしていただくことにしました。

◎小学校のどんなことが知りたいか、事前に子どもたちに聞いてみると、こんな質問が出ました!

- ・初めて小学校に行く日は、どんなことをしますか?
- ・どんな授業がありますか?
- ・算数や国語の授業はどんなことをしますか?
- ・幼稚園で使った道具(ハサミ、のり、段ボールカッター、楽器)の他に、どんな道具を使いますか?

*絵の具や書道の道具を使うのが楽しみです!
コロナ禍でなかなか実際に小学校に伺うことができない状況にありましたが、子どもたちなりに“小学校”のイメージをもち、就学を意識していることが感じられました。

教頭先生が帰られた後、感想を聞いてみると「早く勉強がしたくなった!」「一輪車、私もやってみたいな!」「体育は、何組になるのかな…?」など、期待を膨らませる姿がありました。



感謝の気持ちを込めて

1年間お世話になった人、もの、場所へ…たくさんの“ありがとう”を、いろいろな形で伝えました。

【お家の方へ】

1年間、自分たちのことを一番近くで見守ってくれていた家の人に、お礼のメッセージをかきました。「行事に来てくれてありがとう」「いつも幼稚園の送り迎えをしてくれてありがとう」「幼稚園に行っている間に、家の仕事をしてくれてありがとう」メッセージをかきながら、家の人のことを思い、嬉しそうに話をする子どもたちが微笑ましかったです。



【和太鼓の先生方へ】

子どもたちが毎月、とても楽しんで取り組んでいた和太鼓遊び。発表の後、お世話になった先生方にメッセージを渡しました。最後に先生方の演奏を聴かせていただき、心に残る経験になりました。



【げんき畑の雑草取り】

たくさんの栽培体験をさせてもらったげんき畑に、雑草取りに行きました。草が生えているのを見て「世話をしないとこんなに雑草が生えるんだ…」「今までは自分たちの他にも、小野澤さんや足立さんが手伝ってくれていたんだね。」と、改めて日々の世話の大切さに気付きました。



「畑を、ピカピカにしよう!」と気合が入り、約30分間、夢中になって取り組みました。「一緒に引っ張るよ!」「この雑草、向こうに持って行きます!」「お願いします!」すっかり要領を

掴み、チームワーク抜群で取り組んでいました。見る見る畑はきれいになり、最後に、天国の小野澤さんに伝わるように「畑がきれいになりました!」と、空に向かって大きな声で伝えました。



進級、卒園 おめでとうございます!



笑顔が絶えないすみれ組さん。やる気いっぱいほし組さん。10人が手を取り合っているいろいろなことに挑戦し、共に学び、喜びを分かち合う姿に、何度も心を打たれました。いろいろな活動を通して、できることが少しずつ増えていくたびに、経験してきたことが確実に子どもたちの力になっているのを感じました。幼稚園での経験を自信に変え、4月からは新たな場所で、一人一人の個性がキラキラと輝きますように。心から応援しています。1年間、幼稚園教育にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。